

令和7年度学校評価報告書

令和8年(2026年)3月12日

北海道教育委員会教育長 様

北海道蘭越高等学校長

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1)「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業改善を推進する
 (2)きめ細かで、継続的な生徒理解のもと、生徒一人ひとりに寄り添い支援する生徒指導と進路指導を推進する

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態や当面する課題に則して教育課程を適切に編成した。 重点目標や達成のための観点に基づき分掌・学年・教科の今年度の目標や具体的な取り組みを設定し、実践、評価、修正に積極的に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業等で生徒一人ひとりの課題に応じた指導がなされていることが理解できる。 少人数教育や個別指導も含め、具体的な取り組みの検討を重ねながらいっそう教育活動の充実に努めていただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標のより具体化な共通理解により各教育活動の計画実践を推進する。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ楽しさを重視した参加する授業づくりに積極的に取り組んでいる。少人数制の授業やICT活用により生徒一人ひとりの学習状況をより丁寧に把握し、適切な観点で評価することに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 各授業で生徒一人ひとりに向き合い、生徒の主体性を大切にしながら丁寧な学習指導を展開している。ICT活用も各場面で適切に活用されている。今後も継続していてもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用をはじめ、生徒の意欲を喚起する授業や観点別評価等の研修を継続して推進する。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談や個人面談等の生徒理解の機会を定期的に設け生徒理解に努めた。また、居心地の良い学校環境を創るための取り組みを推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの特性に配慮した生徒理解に基づく相談体制の充実に取り組んでいることで、未然防止と早期発見に努めている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の特性に配慮した生徒理解を進めるとともに、生徒情報を共有して共通した指導を推進する。 	
保健安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全や健康保持の意識を高める指導を計画的・継続的に行った。また、自他の生命を尊重する態度を育成する取り組みを推進することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全と健康に関する学習を計画的に進めている。また、学習を通して主体的に考え、行動する力が身に付いてきていると感じる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全に対する意識の涵養を進め、防災安全指導の充実を図る。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 計画的、的確な指導に努め、進路決定立100%を今年度も達成できた。課題であった個別指導の分担にも取り組んだ。生徒が進路活動に主体的に取り組む場面が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路希望を的確に把握し希望に応じた進路指導を非常に丁寧に行っている。各種講習等も計画的に行い進路実現に向けた指導の充実が図られている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き指導分担も含め、多様な進路希望に応じた個別指導の質の向上に努める。 	
公表方法	「PTAだより」、「学校だより」、HPへの掲載等により公表する。 PTA総会等を活用し、保護者へ説明する。	